

■ 第35号 (2024年10月発行予定)

特集「**戦略と人間本性**」(第22回大会テーマ)

第二特集「**何が軍事組織のパフォーマンスを決めるのか**」

投稿締切 2024年6月30日

(第二特集の企画趣旨)

本特集は、研究が遅れている軍事組織の効率性(military effectiveness)を扱うものである。戦争は戦略研究の主要なテーマであり続けている。戦争には、戦争勃発、戦争遂行、戦争終結の3つのフェーズがある。先行研究において、戦争を引き起こす原因を特定する研究は数多く存在する。戦争終結の研究は戦争原因研究に比べると未発達であるが、少しずつ進展している。最も研究が遅れているのは、戦争遂行に関する研究であろう。戦略研究の大家であるリチャード・ベッツが「大半の国際関係の学者たちは、戦争が重要な問題であることを認識しているものの、戦争前と戦争後すなわち戦争の原因と結果にのみ関心を示しており、戦争それ自体すなわち戦争の行為には興味を持たない」と嘆くのも、理由がないわけではない。こうした学問的空白を埋めることが、戦略研究には求められている。戦時における軍事組織のパフォーマンスに関連しそうな物質的・非物質的要因を特定して、それらの影響をさまざまな手法により実証することを試みる、意欲的な研究論文が投稿されることに期待したい。

(編集担当/野口和彦)